



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

[大分県立病院ウェブサイトはこちら](#)

泌尿器科

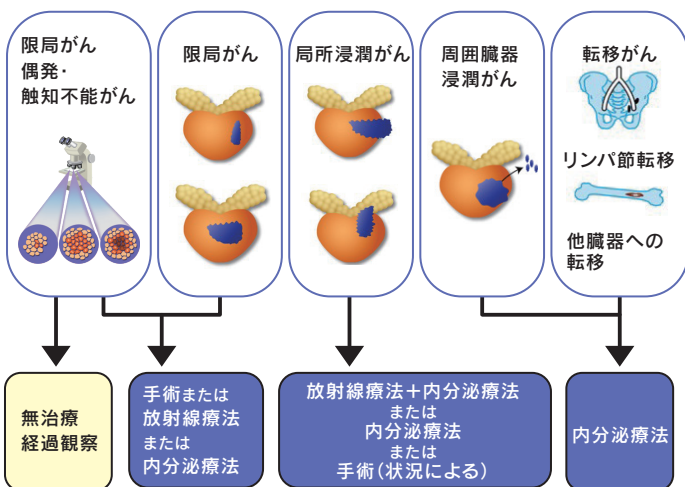
前立腺がんに対する手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下手術に関して

前立腺がんは日本人で近年非常に増えているがんです。2020年には男性が罹患するがんのうちで2番目に多く増えており、背景には社会の高齢化、食生活の欧米化、検診など診断法の進歩が挙げられています。ほかのがんと同様に早期には症状が殆どなく、根治には早期発見が重要とされています。

検診などが契機となって受診された方の中で、必要な方に対しては前立腺生検という組織検査を行って前立腺がんの有無を確認します。前立腺がんとの診断になった方は画像検査を行い、転移がなければ根治が期待できる治療を行うことができます(図1)。その中のひとつとして手術で前立腺を摘出することがあり、当初は開腹手術が行われておりましたが、その後腹腔鏡を用いた手術や手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下手術が行われています。当科では2016年から腹腔鏡下手術を行っていますが、今年後半には手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下手術を導入することになりました(図2)。

手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下手術は腹腔鏡下手術であることは従来と変わりませんが、拡大視野を用いた鮮明な3D画像装置を備えており、また直感的かつ人の手を超えた可動域と手振れ補正があることから、がんのコントロールを改善し合併症の発生確率を減らす可能性があるという利点も報告されています。現在日本で行われる前立腺がんの手術の80%程度は手術支援ロボットを用いて行われています。入院期間や手術時間などは現在行われている腹腔鏡下手術と大きく変わりありません。

手術以外にも放射線治療などが根治につながる可能性がある治療になりますが、10年以上の生存が見込める方には手術を行うメリットがあるといわれています。もし前立腺がんの疑いがあると言われたときは怖がらず、遠慮せずに泌尿器科を受診してください。



進行すれば化学療法、遺伝子治療など

早期には局所療法、進行すると内分泌療法が主体

図1 前立腺がんの治療法に関して

(泌尿器科 部長 友田 稔久)

見込める方には手術を行うメリットがあるといわれています。もし前立腺がんの疑いがあると言われたときは怖がらず、遠慮せずに泌尿器科を受診してください。



図2 手術支援ロボット

(裏面をご覧ください)

※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

皮膚科

帯状疱疹について

帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水痘(みずぼうそう)と同じ水痘・帯状疱疹ウイルスでおこる皮膚の病気です。水痘が治った後に体内の神経節に潜伏して感染しているウイルスが過労(ストレス)や老化、免疫抑制などをきっかけに再活性化することで発症します。

帯状疱疹の症状・合併症

体、顔、手足などのどこにでも生じます。左右どちらかの神経領域に沿って、皮膚に赤色の発疹と多数の疱疹(水ぶくれ)が帯状にみられます。発疹が出現する数日前から神経痛やぴりぴりとした知覚異常を伴うことがあります(写真)。

痛みには、このような急性期の痛みと、発疹が消失したあとに続く帯状疱疹後神経痛があり、治りにくい場合があります。

典型的な発疹に加えて、全身に小さい水ぶくれが出現することがあり、汎発性(はんぱつせい)帯状疱疹と呼びます。感染力が強いため、入院中は個室管理が必要です。

合併症には、髄膜炎、発疹のでている領域によっては眼症状、顔面神経麻痺、膀胱直腸障害などがあり、注意が必要です。



帯状疱疹の診断

特徴的な発疹の分布と、水疱部からの顕微鏡検査やウイルス抗原検査などで診断します。

帯状疱疹の治療

早期の抗ウイルス薬投与を行います。抗ウイルス薬はウイルスの増殖を抑える効果があり、内服と点滴があります。重症な方は入院のうえ、安静と点滴治療を行います。入院期間はおよそ1週間です。

また、急性期の疼痛を緩和することも重要で、症状に応じて鎮痛剤を用います。

合併症についても、症状に応じて専門科と連携して治療を行います。

(皮膚科 副部長 生野 知子)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら